

TONTON

「食道楽」の世界

「わが家」に洋食を広めた

明治の食文化探訪



MAZEMAZE



2023.10.7 (土) - 12.24 (日)

入場無料 / 10:00-17:00 / 月曜休館

ガスマ्यूジアム「ガス灯館」2階ギャラリー

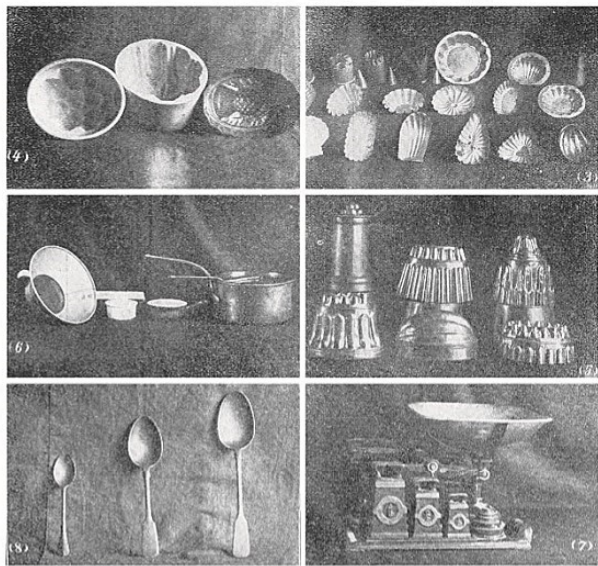


ガスマ्यूジアム

GAS MUSEUM がす資料館



明治の食文化探訪 わが家に 洋食を広めた 『食道楽』 の世界



西洋料理用器具一覧
婦人画報増刊『食道楽図解』
明治39年(1906)

SHOKU-DO-RAKU | 2023.10.7(土) - 12.24(日)



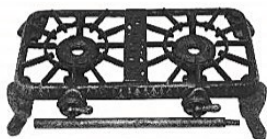
秋穂割烹教授所 調理実習風景 婦人画報増刊『食道楽図解』 明治39年(1906)



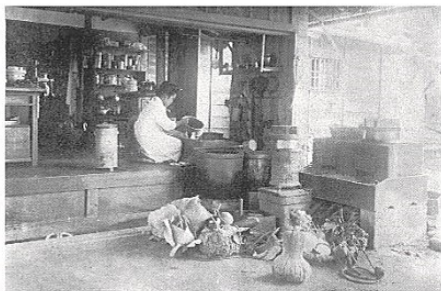
寛三号七輪「図録」 東京ガス株式会社
明治45年(1912)



「牛の部位図」の説明を受ける図 増補註釈『食道楽』 冬の巻 明治37年(1904)



コロンビア二口七輪 明治35年(1902)頃



村井弦斎氏の割烹所 婦人画報増刊『食道楽図解』 明治39年(1906)



食道楽を手にする多喜子夫人
増補註釈『食道楽』 春の巻 明治39年(1906)

今回の企画展では、明治30年代に家庭料理の指南書として空前のベストセラーとなった『食道楽(しょくどうらく)』の世界をご紹介します。明治36年(1903)1月、報知新聞に連載がはじまった小説『食道楽』は、文士の兄を持つ妹が和洋中の様々な料理やお菓子を作り、兄がその料理や食生活のあり方、健康などのうんちくを展開するというユニークな小説でした。600種類以上におよぶレシピが登場し、食材や調理道具の詳細な解説もあるなど、折しも家庭料理への関心が高まっていた当時の人々に驚きを与えます。連載をまとめた単行本は10万部を超す空前のベストセラーとなり、嫁入り道具には必須、と言われたほどでした。

小説で取り上げられたレシピには、シチューやグラタン、オムライス、カキフライ、カスタードプリンなど、現代でもおなじみのものも多く紹介されています。『食道楽』は、明治初めに日本に伝来した「西洋料理」が日本人の食文化と融合し、和洋折衷の調理法により生まれた「洋食」を、家庭料理として広めていく先導役も果たしました。『食道楽』は今年、出版から120周年を迎えました。それを記念して本展では、一世紀以上を経てもなお、現在の私たちの生活に参考となる『食道楽』の世界について、食道楽レシピの再現料理や、当時の調理道具、ガス調理器具も交えながら紹介いたします。

また、『食道楽』が注目された明治末期から大正時代には、家庭料理を学ぶ場のニーズも顕在化します。料理教室が各所で開設され、東京ガス(株)も家庭料理の普及と家庭用ガス器具の紹介のため、大正2年(1913)に料理教室を開設しました。

東京ガス料理教室は今年、110周年を迎えることから、本展との連動企画として特別料理教室を12月に開催します。『食道楽』のレシピをもとに現代風にアレンジした、「明治時代憧れたハイカラメニュー」を作りながら、食文化の歴史に触れられる貴重な機会です。

詳しくは、東京ガス料理教室ホームページ※をご参照ください。

※12月の教室は11月1日(水)募集開始予定

ガスミュージアム
GAS MUSEUM がす資料館

〒187-0001 東京都小平市大沼町4-31-25

TEL 042-342-1715

開館時間 10:00 - 17:00 月曜休館 入場無料

<https://www.gasmuseum.jp/>

バス 西武池袋線 東久留米駅西口より[武21]錦城高校前経由

…武蔵小金井駅行き西武バス「ガスミュージアム入口」

バス停下車徒歩約3分

西武新宿線 花小金井駅北口「花小金井駅入口」バス停より、

またはJR中央線 武蔵小金井駅北口より[武21]錦城高校前経由

…東久留米駅西口行き西武バス「ガスミュージアム入口」

バス停下車徒歩約3分

徒歩 西武新宿線 小平駅より徒歩約20分(2km)

車 新青梅街道 滝山南交差点角 ※駐車場無料

